

東京湾の
アマモ場再生の
来し方と
行く先

「世界湿地の日」

都立動物園・水族園合同企画

身近な水辺保全講演会

2026

3.15 sun.

13:30 - 16:00

事前申込制
参加費無料

実地
80名
葛西臨海水族園
2階レクチャールーム

オンライン
無制限
Zoom
ウェブ会議サービス

海の中に、鮮やかな緑色の草原があります。

遠浅の砂地に広がるこの草原をつくっているのは「アマモ」という植物。

アマモの草原は「アマモ場」と呼ばれ、たくさんの生き物をささえています。

かつては東京湾にも、広大な干潟とその先につづくアマモ場がありました。

失われたアマモ場を取り戻す活動に20年以上たずさわり、東京湾を観察してきた工藤さんをお招きし

アマモ場の大切さ、おもしろさ、そして豊かな海を守るために私たちにできることについて考えます。

講演
1

東京湾のアマモ場再生の来し方と行く先 / 工藤 孝浩

東京湾の豊かさを育んできたアマモ場は、高度経済成長期の埋立てと水質汚濁によってその多くが失われました。アマモ場の衰退はバブル期まで続きましたが、2000年代に入るとなぜかアマモは息を吹き返し、アマモ場の再生活動が軌道に乗りました。活動主体は行政から市民へと移行し、ブルーカーボンなどの新たな価値が見いだされて社会的な認知度がおおいに高まりました。ところが今、アマモは再び減少に向かいつつあります。アマモに何が起り、私たちはアマモに何を求め何ができるのかを、ともに考えてみようと思います。



【プロフィール】1962年横浜に生まれ現在も横浜に暮らす。東京水産大学卒業。神奈川県水産技術センターで東京湾・相模湾・内水面の環境と生物の研究を行い、2023年に定年退職。公務と並行して「海をつくる会」、「金沢八景-東京湾アマモ場再生会議」等で東京湾における多くの市民活動に従事。主な著書に「さかなクンの東京湾生きもの図鑑」（講談社、共著）、「さかな・釣り検索」（つり人社、監修・分担執筆）、「日本魚類館」（小学館、分担執筆）など。日本テレビ系列「THE! 鉄腕! ダッシュ!!」制作協力。

講演
2

「東京湾 アマモ場」水槽のご紹介 / 三森 亮介（葛西臨海水族園 飼育展示係）

応募
方法

葛西臨海水族園公式サイトのお申し込みからお申し込みください

https://www.tokyo-zoo.net/topic/topics_detail?kind=event&inst=&link_num=29498#kasai

締め切り：実地 2026年3月9日（月） オンライン 2026年3月13日（金）



● 先着順で受け付けます。● 参加にあたって、心配なこと、配慮してほしいことがありましたら、受付フォームまたはお電話にてお知らせください。できる限りの対応をいたします。

「世界湿地の日」

ってなに？

毎年2月2日はラムサール条約が締結されたのを記念し「世界湿地の日」と定められました。都立動物園・水族園4園では「世界湿地の日」に合わせて、湿地環境の重要性やそこにくらす生き物たちの魅力を伝えるプログラムをおこないます。各イベントの詳細は公式ウェブサイト「東京ズーネット」をご覧ください。



葛西臨海水族園

- 開園時間：9時30分～17時（入園は16時まで）
- 休園日：毎週水曜日（祝日や振替休日の場合は翌日）
- 入園料：一般700円 65歳以上350円 中学生250円
※小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料
- お問い合わせ：東京都江戸川区臨海町6-2-3 03-3869-5152
- H P : <http://www.tokyo-zoo.net/>